

説明会資料 《 OBOGインタビュー 》

12年間を開智学園で過ごした卒業生たちに、現在の様子や、総合部での12年間を振り返ってもらいました。

Q: OBOGに聞きました「総合部で身についた力はなんですか？」

1位: コミュニケーション能力・協調性

2位: 積極性・自主性

3位: リーダーシップ・統率力

(その他の回答)

物事を考えて言葉にする力 人間関係を築く力 探究的な思考

チームを動かす力 プレゼンテーション能力 内省力 発想力 など

① 金子未来さん(2014年度卒業) 高知大学医学部



Q:総合部で思い出に残っていることはなんですか？

A:各学年でフィールドワークがありますが、毎年それぞれ色が違って楽しかった記憶があります。将来の夢に準じて言えば、やはり8年生のときに北海道でドクターヘリを見学できたことはいい思い出です。一方で、小学3年生の時に日光の野外活動で星を見に行ったり流しそうめんをしたり、ドラム缶風呂に入ったりしたのも子供心にすごく楽しくて、今となっては良い思い出です。24歳になった今でも当時の同級生たちと連絡を取りますが、ドラム缶風呂

を全裸で一緒に入った仲間たちは、大学の友達たちとはまた全然違う距離感で話ができます(笑)

Q:総合部で成長したと思うこと・身についた力は何ですか？

A:「コミュニケーション能力」

一言でコミュニケーション能力と言うと抽象的に思えるかもしれませんが、一つは上下関係を上手に築ける力です。異学年学級による縦のつながりを通じて、他の学年の友達と交流を深める機会が多くありました。これは他校では本当にできない機会だと思っていて、4学年が同じクラスにいるからこそ、イベントや普段の生活を通して、他の学年の友達と良い意味で分け隔てなく話すことができるようになりました。異学年と適度な距離感を保ちながら話す能力は、現在でも上下関係を築く上で非常に役立っていると感じます。

それから、英語を使ったコミュニケーション能力です。総合部は特に英語に力を入れているので、小学生低学年の段階から英語での交流をする機会が多かったです。そのおかげで、文法は多少間違っているけど、果敢にネイティブ

の人と話してみようと思う力が身につきました。私の場合、勉強不足であまり文法には自信はありませんが(笑)、総合部の時からネイティブの先生と話したりして、英語を使って話しかけてみることに抵抗がないので、海外旅行に行っても積極的に外国人に話しかけています。すると意外にも、なんとか交流をとることができ、今では海外に友達もできました。他の総合部の友達も開智を卒業後留学している人が多い印象で、私と同様に、英語を話すことに抵抗がない人が多いのではないかと考えています。英語を話す力は今後益々グローバル化が予想される社会において非常に重要なスキルだと思うので、こういった力を身につけられたことはよかったと感じています。

Q:今振り返って、総合部で良かったと思うことはどんなことですか？

A:なにより良かったと感じるのはかけがえのない友達を作ることができたことです。小学3年生で編入してから高校3年生まで10数年もの間、成長を共にしてきたので、やはり総合部の頃からの友人との居心地の良さはピカイチです。卒業後何年もたった今でも仲が良く、ほぼ毎日ラインしたり週一で電話したりしています。そして、この関係性はこれからもずっと続くのかなと思います。こんなに一生物の友達ができただけのも、小・中・高一貫校である開智総合部に入ったおかげです。

Q:将来の夢はなんですか？

A:「救命救急医」

私は小学6年生の時に見た救命救急のドラマがきっかけで救命救急医に憧れを持つようになりました。以降、開智の探究という授業で、救命救急の大事なツールであるドクターヘリについて主に学習するようになりました。8年生の時のフィールドワークでは北海道の病院に実際にアポイントメントを取って、ドクターヘリの中を見学させていただきました。そこで実際に現場で働くドクターの方にお話を伺うことで、救命救急医が、単なる憧れから自分の夢へと変わりました。こういった経験を踏まえて、一貫部に入ってからでは医学部を目指し勉強しました。現在医学部6年生になり、国家試験を控えています。就職する病院は兼ねてからの夢でもあるドクターヘリ基地病院に決まりました。無事国試に合格したら、まずはとにかく多くの症例を経験したいと思っています。救急の患者に対して迅速かつ正確なファーストタッチを行い、重症度に応じてしっかりその場で判断・診断していく研修をしていきたいです。救命救急医として多くの経験を積んで、ある程度自分で考え行えるようになったと胸を張って言えるようになったら、ゆくゆくは在宅医療専門医の資格も獲得したいと考えています。すでにドクターをされている先輩方や上の先生にお話を伺うと、医師としてある程度一人前に何かをできるようになるのは10年目の時だとうかがっているので、卒後10年目の時点を目安に次のステップにいけるように、とにかく今は目の前にあることを達成できるように頑張ります。

Q:入学を検討している保護者の方へ、メッセージをお願いします。

A:開智総合部では、他校にはない特徴がたくさんあります。ひとつひとつ、最初は具体的に想像がつかないかもしれませんが、それを全てこなし卒業した今、全てが生徒にとって良い形で還元されていると実感しています。学び・友人関係・学校生活すべての経験が今の私に活かされています。私は、開智総合部に入れて良かったですし、その選択をしてくれた両親にすごく感謝しています。ぜひ開智への入学を検討してみてください。

② 明石悠誠さん(2016年度卒業) 東京大学法学部



Q:総合部で思い出に残っていることはなんですか?

A:セカンドリーで生徒会活動を続けていたことが今の自分を仕上げたと思います。長い時間を過ごしてきた仲間と共に、先生方の支援を受けながら、学校をどうやって作り上げていくか話していた時が一番楽しかったです。

Q:総合部で成長したと思うこと・身についた力は何ですか?

A:「主体性・思考力」 生徒会や委員会活動に身を投じる中で、何が課題であり、何が求められているのかを考え、それを行動に移す力が身についたと考えています。全てが上手くいくわけではありませんが、自分なりに考えてみることを通して、現在にまで繋がる力の基礎となっていたと考えています。

Q:今振り返って、総合部で良かったと思うことはどんなことですか?

A:ゆとりを持って伸び伸びと、自分のやりたいことができたことだと思います。学業のみに終始することなく、興味のあるものに手を伸ばせたと感じています。振り返れば初めて古典や哲学の世界に触れたのは総合部の頃であり、そのことが今の自分の大学での学びや関心事に繋がっているのではないかとも思います。

Q:将来の夢はなんですか?

A:財務省に内定をいただいています。日本の直面する諸課題に対して、政策の実務家として対峙することでその解決に貢献したいと考えています。日本全体を俯瞰した上で、求められている政策やその正当性について考えて判断し、国民から信託された税の最後の守り手として働くことができると思い、財務省を志望しました。

Q:入学を検討している保護者の方へ、メッセージをお願いします。

A:小学生の頃から自分の頭で考えるということを少しずつ訓練していったことで、大きく成長できたと確信しています。自らで考え、仲間たちと共に学び、学校を作り上げる経験は、貴重なものです。卒業生として多くの子供達がこの価値ある体験ができたらいいなと思っています。

③ 杉本 奏さん(2018年度卒業) 早稲田大学 社会科学部



Q:総合部で思い出に残っていることはなんですか?

A:「運動会」

8年生の時の運動会は本当に印象に残っています。私には双子の兄(総合部卒業・現在慶應義塾大学医学部在学中)がいるのですが、ラストの選抜リレー前に、兄のクラスが1位、私のクラスが2位でした。最後の競技、選抜リレーのアンカーで兄と一騎討ちになり、私が1位、兄が2位でゴールしました。走っている時はアドレナリン全開で、先生やクラスメイトたちの顔が鮮明に見えたのを覚えています。ただ結局、総合優勝は兄にとられてしまいました…笑

Q:総合部で成長したと思うこと・身についた力は何ですか？

A:「積極性」

総合部は行事や日常のルールなど生徒たち自身で作っていきます。私も生徒会長を務める際、開智発表会のモザイクアートや学校施設の休み時間のルール作りなど、様々なことを企画から実行まで自分たちで行いました。この「自分たちがやらなきゃ始まらない」という経験が、行動力や主体性に繋がったと感じています。また企画したものを先生や、周りの生徒たちに発表しなきゃいけない場面も多いので、自分の考えを外に発信する力も習得できたと思います。

この行動力は大学生になっても、役立っています。私は、今サークルを1つ、バイトを2つ、学生団体1つ、インターン1つに参加しています。どれもこなすのは正直大変ですが、やりたいと思ったことなので、自分から連絡をして参加させていただいています。特に、イベント運営の学生団体とITベンチャー系のインターン先には高校の時から、大学生になったらやらせてください!とアピールしていました。インターンは倍率が50倍くらいあったらしいですが、総合部で身につけた行動力と、熱意の伝え方が実ったのかなと感じています。

Q:今振り返って、総合部で良かったと思うことはどんなことですか？

A:先述のように、主体性を重んじてくれることだと思います。僕の双子の兄も総合部なのですが、サッカーをかなり本格的にやっていて、毎週土曜日は必ず試合や練習がありました。総合部(セカンダリー)は、毎週土曜日に授業がありますので、本人への負担や周囲への迷惑はあったでしょう。それでも続けられたのは、本人のサッカーへの熱意を尊重、サポートしてくれる環境が総合部にはあったからだだと思います。先生たちは授業のわからないところは必ず親身に対応してくれますし、相談だつてのってくれます。友達も色んな人がいて、皆、支え合っています。もちろん、兄自身のがんばりもありますが、応援してくれる人が周りに多かったこともよかったのだと思います。僕自身も生徒会や委員の企画などで悩んだ時、先生方はまず僕らの意見を聞き出してくれたこと、それを実行してくれることをサポートしていただいたことが多々あり、感謝しています。

Q:将来の夢はなんですか？

A:「起業家」

私は、総合部にいた時から、生徒会長や行事の実行委員長を務めさせていただくことが多く、先生方が主体性や自発性を重んじてくれた環境であったこともあり、「率先して前に立ちたい」、「新しいことを自発的に取り組みたい」という気持ちが大学生になっても消えずに残っています。

また、中学生の時、とある先生から「やりたい分野がないならつくればいい」と言われたこともきっかけになり、今、ちょうど起業家志望向けのインターンに参加させていただき、自分で一からインフルエンサーマーケティングの事業を作っています!

Q:入学を検討している保護者の方へ、メッセージをお願いします。

A:今の僕があるのは間違いなく、開智での12年の積み重ねの結果です。おそらく、人によっては総合部の思い出は異なると思いますが、共通することは主体性や個性を重んじてくれる環境の結果だということだと思います。

大学生になった今、インターン先などでも普通の人とは違う体験を話せるし、異色な経験を自分のものにしてると日々感じています。ただの一貫校ではなく、特別な経験をさせてくれる学校が総合部だと思っています。

④ 澤 凧咲 さん(2018年度卒業) 東京歯科大学 歯学部



Q:総合部で思い出に残っていることはなんですか?

A:「球技大会」

一貫部では球技大会がなかったので、特に思い出に残っています。運動会とはまた違ったクラスの団結力や、球技大会に向けての練習など、たくさんのエピソードがあったなあと思いつき、わたしが8年生の頃、バスケットは優勝、ドッチボールは3位で総合優勝したのを今でも覚えています!一年の初めの方にある行事で、これを通してチームのみんなと仲良くなった気がします。

Q:総合部で成長したと思うこと・身についた力は何ですか?

A:「コミュニケーション力」

この話をどこで聞かれても、わたしはいつも「コミュニケーション力」って答えています。

総合部は異学年クラスのため上下関係もしっかり学べるし、先生との距離感が近く(いい意味で)、いつでも親身になってくれる先生たちが多かったです。常に先輩と話す機会があり、後輩と話す機会があり、先生たちとも話せる機会があるこの総合部は他では経験できないような日々が送れたと思います。

給食なども班で食べたり、学年で食べたり、日によって違う人と食べられたりするので、そういう場面でもコミュニケーション力は上がると思うし、全授業教室を移動することから、いろんな人と対面して話す機会も増えると思います。あとは、いろんな行事で代表などをやっていたりしたので、それを通してコミュニケーション力が上がったのかなと思っています。応援団長や、クラス代表、運動会委員、学年代表、さまざまな代表をやりましたが、どれも今でも思い出に残っています!

Q:今振り返って、総合部で良かったと思うことはどんなことですか?

A:総合部生活の12年間は語りたくても語れないくらい思い出があります。すべての行事が楽しくて、特に球技大会、エクスカッション(遠足)、運動会は楽しくなかった人はいないのではないかってくらい、毎年毎年楽しかったです。どんな時もクラスで協力し、先生も全力だし、どうしたらクラスが楽しくなるか、どうしたら優勝できるかをクラス全体で考えるから楽しかったのは当たり前だし、総合部生活は自分の青春そのものでした!

どんな時でも先生たちは味方になってくれるし、小さな喧嘩でも、些細なことでも、勉強面で伸び悩んでいる時も、いつでも助けてくれました。

わたしが勉強面で悩んでいる時、わざわざ先生が朝早く来てれて一对一の補講をしてくれたのを覚えています。それまで勉強が全く好きじゃなかったけど、頑張ってみようと思えたきっかけになりました、

Q:将来の夢はなんですか?

A:「歯医者」

家が歯医者だったのもあり、物心ついた時から、自分は将来歯医者になる、と言う夢をずっと持ち続けていました。明確に何がきっかけ?と聞かれたらわかりませんが、気づいた時には進路が決まっていました。でも時に小学生の先生になりたいと迷っていた時もあったけど、先生たちはどっかにしろとかではなく、どっちも目指せばいいし、歯医者になってから教員免許取ってもいいんだよ、ってどちらの夢も応援してくれました。

Q:入学を検討している保護者の方へ、メッセージをお願いします。

A:開智は、勉強の環境も、遊びの環境も、すべて整っている場でした。周りの意識が高いから勉強も怠ることもないし、遅れていれば先生が助けてくれます。朝昼放課後、友達と過ごす時間が楽しいのはもちろん、部活動も充実していました。

開智に入って最初は異学年クラスや、クラスの名前、クラスの色、戸惑うこといっぱいあるけれど、総合部ならどんなクラスでも楽しいし、時には色んなことが嫌になる時もあるかもしれませんが、その時は常に一緒にいてくれるクラスのみなどと親身すぎる先生が助けてくれます!